

新入局員感想



清水 正樹

出身大学：
金沢大学
卒業年：
平成 10 年
初期研修病院：
金沢大学附属病院

令和2年に入局させていただきました清水 正樹です。埼玉県行田市出身です。1998年に金沢大学を卒業し、金沢大学小児科に入局し、谷内江 昭宏教授の御指導の下、リウマチ膠原病、腎臓病を専門として、診療、研究、教育に従事してまいりました。大学院卒業後2005年から2年間、米国NIHでFabio Candotti先生の下、Wiskott -Aldrich症候群における自己免疫疾患の発症機序に関する研究に従事しました。帰国後小児リウマチ膠原病の世界に入り、2012年に3か月間JCR-EULAR young rheumatologist training programの助成を得て、イタリアジェノバ大学でAlberto Martini教授のご指導の下、小児リウマチの研修を行ってまいりました。このたび森尾 友宏教授、森 雅亮教授、金兼 弘和教授の御厚意にあずかり、東京医科歯科大学で小児リウマチ膠原病をさらに研鑽する機会をいただきました。活力あふれる若い仲間たちと一緒に日々学び、成果を世界に発信していきたいと思っています。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



金子 修也

出身大学：
福井大学
卒業年：
平成 27 年
初期研修病院：
横浜市立大学附属病院/
横須賀共済病院

よろしくお願いいたします。平成27年卒で医師7年目の金子 修也と申します。出身は千葉県柏市で、高校卒業まで住んでいました。福井大学卒業後は横浜市立大学で初期研修を行い、終了後は金沢大学の小児科に入局し、後期研修を行いました。大学卒業後、9回の転勤と7回の引っ越しを経て、得意なことは引っ越しになりました。

今年度から東京医科歯科大学大学院進学を志望し、それに伴い東京医科歯科大学小児科に入局させて頂きました。昨年の10月から本年3月までは、土浦協同病院の小児科と新生児科でお世話になりました。コロナ禍であり例年よりは患者数が減少していたようですが、重症患者や希少疾患の診療を含め大変有意義な時間を過ごさせて頂きました。またこの馬の骨ともわからぬ私を大変親切に受け入れてくださり、土浦の先生方には本当に感謝しています。

専門は小児リウマチ・膠原病を志望しております。東京医科歯科大学医学部附属病院では信じられないくらい多くの小児膠原病患者の診療に当たっており、患者様を通して日々多くのことを勉強させて頂いています。また基礎研究についても、世界と戦える業績を数多く収めている本教室で勉強させて頂けることを大変幸せに感じています。先輩方は皆さん聡明で、日々研究の壮大さや知識の豊富さに圧倒されていますが、私も微力ながら教室のお力になれるように精進致します。

色々と未熟な面ばかりでご面倒おかけすることも多いかと存じますが、何卒よろしくお願いいたします。



木島 英美

出身大学：
新潟大学
卒業年：
平成 30 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

2020年度に入局させていただいた木島英美と申します。

出身は東京で、大学は新潟大学でした。大学時代は硬式テニス部に所属し、現在も体力不足解消のためテニスは続けております。

初期研修は、1年目を東京医科歯科大学で、2年目をJAとりで総合医療センターで研修いたしました。

初期研修時代から、子どもたちの成長発達を見守り、笑顔になって退院していく姿などをみてやりがいを感じ、小児医を志しておりました。この度、東京医科歯科大学に入局して、遂に小児科医として一步を踏み出せたことを嬉しく思います。

後期研修1年目は武蔵野赤十字病院で、後期研修2年目は土浦協同病院NICUで研修いたしました。1年目は特にCOVID-19の影響で、普段とは異なる診療体制となり戸惑いも多かったですが、その中でも一般小児診療の基本的な部分を丁寧に学ばせて頂きました。2年目は一般小児とは全く異なる新生児科領域で、最初は不安も強くありましたが先生方が熱心にご指導していただき、急性期の治療や全身管理について学ばせて頂いております。赤ちゃんたちの命を救うという責任の重さや、ご家族に対して重大なお話を主治医としてしなければならない場面もあり悩むことも多いですが、素晴らしい先生方の手厚いご指導や同期のサポートのおかげで、充実した研修を送らせていただいております。これからも、様々な分野に触れ多くの症例を経験して、将来進むべき専門分野を決めていけたらと考えております。

毎日自分の至らない点を痛感することが多いですが、その経験や反省を活かして、小児科医として一步一步成長できると信じて、日々精進して参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



坂川 由里歌

出身大学：
群馬大学
卒業年：
平成 30 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

2020年度に入局しました坂川由里歌と申します。群馬大学出身で、卒後は地元の東京に戻ろうと考えていたところ、ご縁があり東京医科歯科大学の周産期重点プログラムに採用していただき今に至ります。

子供のころの私にとって小児科の先生は「神様」でした。なぜなら、我が家の中で重度心身障がいをもつ姉の主治医の存在があまりにも大きかったからです。同時に、病気を治して終わりではなく、障がいと共に生きていく子供たちに寄り添う医療に強い魅力を感じたのが医師を志すきっかけとなりました。もちろん今では「神様」でないのは重々承知ですが、良くも悪くもそれほど影響力を持ちうるということを忘れずにいたいと思います。

初期研修1年目は土浦協同病院、2年目は東京医科歯科大学病院で、そして再び土浦協同病院に戻って後期研修をさせていただいております。2020年度はコロナ禍のため小児科外来・病棟共に様変わりしました。増加傾向にある精神面に問題を抱える患児への対応、面会制限がかかる中での退院調整の難しさなど例年とは異なる課題に頭を抱えたように思います。多くの軽症患者は病院受診を回避しましたが、搬送されてくる重症患者を対応することで改めて地域中核病院の役割を実感しました。病院内でのコロナ関連業務も増える中で貴重な時間を割いてご指導いただきました先生方に厚く感謝申し上げます。

今後は土浦協同病院のNICUで新生児研修を予定しております。これまで小児科でみていた「家族」が始まる場所です。しっかり学んでいきたいと思っております。わからないことだらけの未熟者ですが、今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



富岡 翠

出身大学：
富山大学
卒業年：
平成 30 年
初期研修病院：
日野市立病院

令和2年度入局の富岡 翠と申します。

中学生時代から小児科医になりたいと思い十数年、ようやくその夢の第一歩を踏み出しました。自分には向いていないのではないかと考えることもありましたが、多くの人の支えのお陰で歩んでくることが出来ました。一人ではここまで来ることが出来なかったと感じますが、働き始めてより一層周りの人達の有り難さを痛感しています。入局初年度は出産と子育てでお休みを頂き、一年遅れてのスタートとなりました。医局のみなさまにはご迷惑を多々おかけしたにも関わらず、沢山のご配慮と優しい励ましのお言葉を頂き感謝が尽きません。出産・子育てを経て我が子から学んだことを今後の仕事に活かすことが、これからの私の役割と恩返しだと思っております。

現在は東京北医療センターで研修をさせて頂いております。さまざまな分野に精通された先生方がいらっしゃり、多くのことを学び経験させて頂いております。とても雰囲気良く、学年の近い先生方を始め上層部の先生方もいつでもご相談に乗って下さり、自分だけでは気づけない細やかな点もご教授頂きありがたいです。二次救急を担う病院ですが、三次の病院に転院搬送することも少なくなく、日々身を引き締めて仕事をしております。患いさんご家族一組一組に丁寧に寄り添いながらも、素早く仕事を進めることが現在の課題の一つです。

現時点では、神経・心身症の分野に興味がありますが、分野問わず多くのことを学び、少しでも患いさんご家族が笑顔になれるお手伝い出来るよう、日々精進して参ります。今後ともよろしく願い致します。



永松 優一

出身大学：
福島県立医科大学
卒業年：
平成 30 年
初期研修病院：
土浦協同病院

初めまして、永松 優一と申します。高校時代までは東京の世田谷区に在住しておりました。大学は福島県立医科大学で勉強させていただいたあと、初期臨床研修は土浦協同病院で2年間研修を行いました。土浦協同病院で各先生方にお世話になったご縁もあり、令和2年に入局させていただきました。初期研修後は半年間の大学の期間を経て現在は川口市立医療センターで研修を行っておりますが、外様の私にも丁寧なご指導をいただき、また垣根のない医局の雰囲気を心地よく感じております。また個人的には同期に恵まれているかなと思っており、コロナ禍のためなかなか集まって飲み会などはできてはいませんが、昨年はZOOMで飲み会が開かれるなど仲良くさせて頂いております。

学生時代は中学生ぐらいから硬式テニスをやっております、大学でもテニスをやっておりました。残念ながら6年間で一度もレギュラーが取れずに悔しい思いをしましたが、大学6年間はほぼ部活に全てをかけており（恥ずかしながら勉強や実習は不真面目でした）、個人的にはそういった経験は今でも生かされているかなとは思っています。働いてからはゴルフを始めて完全にハマってしまい、なかなかうまくならず下手くそではありますが楽しんでやらせていただいております。今回、過去の同窓会誌を眺めながら何を書いたらよいか案じつつ、趣味について書かせていただき、私の人となり伝われば幸いです。

個人的に小児科の好きなところの一つとして総合診療の側面が強いのところが好きであるため、ぜひ様々な症例を経験していきたいと思っております。まだまだ未熟者ではありますので、今後も先生方にはご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



中村 虹輝

出身大学：
筑波大学

卒業年：
平成 30 年

初期研修病院：
土浦協同病院

令和2年度に入局させていただきました中村 虹輝と申します。出身は茨城県で、茨城県の高校を卒業し筑波大学で学び、土浦協同病院で2年間初期研修を行い、ずっと茨城県で生活してきました。学生の頃から小児科に興味があったので、初期研修先では小児の疾患を幅広く見ることのできる病院として土浦協同病院で研修させていただきました。このまま茨城県で働き続けるのだろうかとはぼんやり考えていましたが、土浦協同病院でお会いした東京医科歯科大学の先生方から色々お話を伺って東京医科歯科大学の小児科の魅力に触れ、入局させていただきました。後期研修1年目の半年間は大学病院で研修させていただきましたが、2年目の現在は土浦協同病院の新生児科で後期研修をさせていただいており、また慣れ親しんだ茨城県での生活を送っています。

初期研修医のときは指導医の先生方と楽しく研修生活を送らせていただきましたが、後期研修医になって戻ってきたときには求められることも責任も多くなり、立場が変わるとこんなにも変わるものかと驚きました。こんな自分でやっていけるのだろうかと思いましたが、指導医の先生方の丁寧なご指導で未熟ながらも目の前の子供達と向き合い、小児医療の楽しさが少しずつわかってきた気がしています。

まだまだ未熟で日々自分の無力さを痛感しております。至らぬ点も多く先生方にご迷惑をおかけすることも多々あると思いますが、1日でも早く1人前の小児科医になれるよう精進いたしますので今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしく願い申し上げます。



朴 智加

出身大学：
千葉大学

卒業年：
平成 29 年

初期研修病院：
川口市立医療センター

令和2年度入局の朴 智加と申します。川口市立医療センター小児科で東京医科歯科大学の先生方と出会い、初期研修同窓で入局されている先輩方のお話を伺う内に自分も一緒に学びたいと感じるようになり入局いたしました。川口市立医療センターでは様々な場面に対応する先生方の姿を拝見し、学年が近い専攻医の先輩も大きな役割を担っていることに驚き憧れました。特に緊急性の高い場面に立ち会った時、自分も状況を打開する一員になりたいと感じたことは、今でも変わらぬ思いで日々の診療をするようにしております。専攻医1年目は東京ベイ・浦安市川医療センターにて、コロナ禍で症例が少ない中充実した研修をさせていただきました。専攻医2年目前半は大学病院、後半は土浦協同病院で研修をさせていただきます。今後も様々な施設で勉強させていただくと存じますが、どうぞよろしくお願いいたします。



平沢 光明

出身大学：
新潟大学
卒業年：
平成 28 年
初期研修病院：
災害医療センター

2020年度入局させて頂きました平沢 光明と申します。
新潟大学医学部卒業であり、部活動は美術部に所属しておりました。

研修終了後は短期間ではありますが、成人を中心とした医療に従事させていただいておりましたが、小児医療に積極的に関わりたいとの思いがつのり、小児科医を志すこととなりました。

小児科での研修は、成人の医療とは異なることが大変多く、とくに患児のご両親とのコミュニケーションは、成人のご家族に対してのものとは全く異なるため、まだまだスムーズにはいかず、日々試行錯誤しております。

しかし、悩むこともある一方で、憧れであった小児医療に携われる喜びは大きく、現在の状況に大変感謝しております。

至らない点も多く、ご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、今後ともご指導ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い致します。



山崎 勇大

出身大学：
東京医科歯科大学
卒業年：
平成 30 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

初めまして、平成30年卒、現在卒後4年目の山崎と申します。よろしくお願いいたします。

出身は都内の八王子で、中でも特に田舎の、田園風景が広がるようなところで育ちました。八王子は都内とはまた違った文化が流れていて、成人式のときには白装束が集まっているようなさながら地方都市のような盛り上がりを見せます。中高時代は横浜の聖光学院という男子校まで片道2時間近くかけて通っていました。今となっては進学校としてかなり有名になってしまいましたが、僕が在籍していた頃はもう少し出来の悪い学校で、授業中に騒ぎすぎてまとめて先生に引叩かれたりしていました(笑)。それでも文化祭が一番のイベントで(女の子が学校に来るからというのがほとんどの理由なのですが(笑))、みんなが本気で一丸となって目標に向かって頑張ること、その中で自分がチームに貢献していることで得られる喜びだったり達成感を知ることができました。これは今でも僕の行動のルーツになっていると思います。

昨年は1年間草加市立病院でお世話になりました。右も左もわからないような僕を温かく迎えて下さり、頭が上がりません。本当にありがとうございました。小児科医として1年たった今思うことは、「小児科を選んでよかった」ということです。難しいことやつらいことももちろんありますが、子どものことを一番に考えるチームの一員の中で自分ができることを模索していくこと、それによって自分が成長していくことが日々幸せだと感じています。これからも少しでも皆様のお力になれるように日々精進してまいりたいと思います。今後とも何卒よろしくお願いいたします。



山野 春樹

出身大学：
東京医科歯科大学
卒業年：
平成 30 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

令和2年度に入局させていただきました山野 春樹と申します。

父の海外赴任中に生まれたため、Alexというアメリカ人でもあります。残念ながら物心つく前に帰国してしまったため、英語は完全に忘れてしまい、そこまで得意ではありません。ただ英語を含めた海外文化は好きなので、いつか生活してみたいと思っています。小中高はほぼ毎日白球を追いかける野球少年でしたが、大学では球を少し小さくして、ゴルフ三昧の日々を送っていました。今でも趣味としてゴルフは続けています。

元々医師を志望した時から小児科への興味は強かったのですが、大学6年生の時に医科歯科の小児科重点プログラムに誘っていただき、小児科医として生きることを決めました。初期研修もしていない学生のうちから進路を決めることに不安もありましたが、実際に小児科で仕事をはじめてみて、子供のためならどんなに疲れていても頑張れる自分や、年々やりがいを感じる自分に気づき、自分の選択は間違っていなかったと実感しています。

小児科医として1年目の昨年は土浦協同病院で研修させていただきました。コロナ禍で小児科を取り巻く環境が大きく変わる中、多くの経験をさせていただき、たくさんの先生方にお世話になりました。また成育医療センターや茨城県立こども病院で研修させていただく機会がいただけたことは非常に大きな経験となっており、今後も機会があれば様々な施設で勉強させていただきたいと考えています。現在は草加市立病院で日々研鑽させていただいています。

今後も出会いを大切に、全力で頑張っていきたいと考えておりますので、何卒ご指導の程よろしくお願い致します。



渡邊 浩太郎

出身大学：
東京医科歯科大学
卒業年：
平成 30 年
初期研修病院：
東京医科歯科大学プログラム

私は静岡県清水市(現 静岡市清水区)出身で、清水東高校を卒業しています。静岡県は東西に長い県で、東は東京を向いて、西は名古屋を向いており、ちょうど静岡市の位置する中部は、その両方の良い文化を取り入れて発展しているように思います。静岡県はかつてサッカー大国と言われており、私自身も中学時代はサッカー部に所属していました。サッカーが好きなのは今も続いており、プレイスキルはかなり落ちていますが、コロナ禍が去ったら皆さんとサッカーやフットサルができれば幸いです。また、サッカー好きと関連して、スペイン語を習い、日常会話レベルまで上げることができました。今まで、コスタリカやメキシコ、ペルーなどを旅してきましたが、いずれの国の人々もとても友好的で、尊敬できる文化を持っていました。海外旅行が許されるときが来たら、また中南米を旅したいと強く願っています。大学から東京に来て、入学時から小児科医になることを目指していました。小児科の良いところは、総合診療的な側面が強く、専門領域に進んだ後も、広い視野を持って診療できることや、成長と発達の過程にあり、日々大きく変化している「子ども」を診られることだと思っています。また、これまでの短い小児科人生の中でも、「子ども」から新しい気づきを得て、感銘を受けることは多々経験してきました。大学や関連施設で学んだ知識や得た技術を、将来的には地域医療に還元したいと思い、日々精進しております。ご迷惑をおかけするかと思います。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。